

茨木市生涯学習だより

まなびどり



五十鈴橋(手前)と先鋒橋

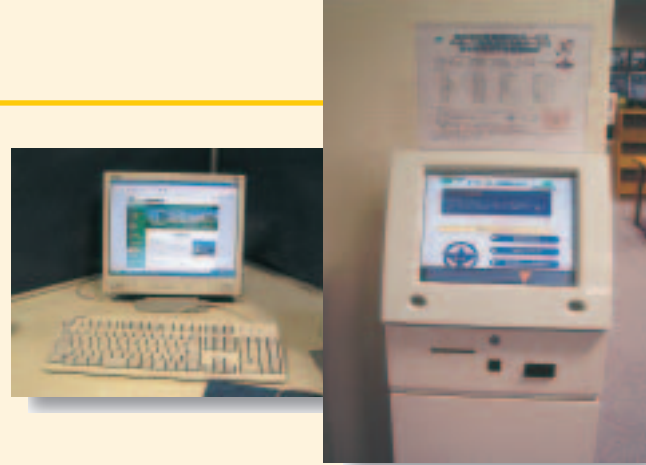
学ぶ喜びを まちの誇りや豊かさ

- 生涯学習センター 利用申込は「きらめきNET」で
- 生涯学習センター きらめき 文化講座 西鶴・芭蕉・近松と上方文化
- シルバー人材センター
- 子育て支援総合センター
- 指定文化財を訪ねて ~仏像に見る美とは~
- 茨木の街道をゆく
- グループ紹介
- 市民インタビュー
- 催し物案内
- エッセイお友しの時間
- 市民カレンダー

利用申込は「きらめきNET」で

生涯学習センターの「きらめきNET」は昨年11月にスタートし、すでに多くの市民が利用しています。センターへ出向がなくても、自宅からセンターの研修室やスタジオなどの利用申込ができるので、大変便利です。

皆さんも「きらめきNET」を使ってみませんか。



「きらめきNET」はインターネットを利用して、生涯学習センターの各室の空き情報の照会や利用申込が行えるシステムです。インターネット接続をしている家庭のパソコンや、市内公共施設に設置している街頭端末から利用できます。

利用者登録

「きらめきNET」を利用するには、あらかじめ利用者登録が必要です。センターで利用者登録申請書など登録に必要な書類一式を受け取ってください。書類に必要事項を記入し、口座振替申込書に金融機関の承諾印を受けてから、あわせてセンターの窓口へ提出してください。後日、利用者登録カードとハンドブックをお渡しします。

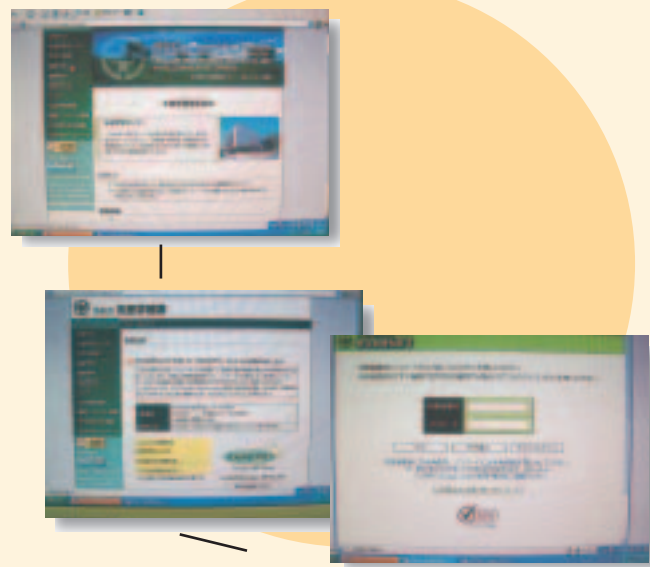
個人登録の場合は、身分証明書（健康保険証、運転免許証、住民票の写しなど）の提示が必要です。団体登録の場合は、代表者の身分証明書、団体組織規則、構成員名簿が必要です。未成年の利用の場合は、保護者の同意が必要です。

申込と抽選

「きらめきNET」の抽選は、抽選日の前月20日から月末までにインターネットで申し込んだ方を対象に、毎月1日に行います。抽選の参加申込の対象月は、抽選日の2カ月後（多目的スタジオは3カ月後）の月です。当選している場合は、利用確定を2日～10日に行ってください。抽選での申込がなかった各室は、2日から申込が可能です。そのほかの区分は、11日～利用当日に先着順で申込を受け付けます。

使用料

使用料は金融機関での口座振替となり、利用月の翌月20日に、1カ月分がまとめて引き落とされます。引き落としが土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌日となります。取扱金融機関は、りそな銀行（全店）、三菱東京UFJ銀行（全店）です。



利用申込の画面

茨木市立生涯学習センター きらめき

〒567-0028

茨木市畑田町1-43

TEL 624-8182

FAX 624-8946

詳細は、<http://www.kira.city.ibaraki.osaka.jp/> 施設予約のページをご覧ください。

西鶴・芭蕉・近松と上方文化

～江戸時代の三大文豪の傑作を楽しむ～

生涯学習センター きらめきで現在開講されている文化講座の中に、「西鶴・芭蕉・近松と上方文化」という講座があります。講座では、ほぼ同時代に生きた三人（井原西鶴、松尾芭蕉、近松門左衛門）の文豪の作品を鑑賞し、上方文化とのかかわりを学習しています。

今なお多くの人の心に響く作品を残した三人の文豪について、講師の西島孜哉先生に話を聞きました。

西鶴・芭蕉・近松が活躍した元禄時代の文化とは、どのような文化だったのですか。

上方が一番いきいきしていたのが、江戸時代の前半、中でも寛文から元禄時代です。上方は経済の中心で、天下の台所と言われたように全国の物産が入ってきました。文化も大いに栄え、京都の文化を吸収しながら、躍動感あふれる人間的な上方文化を築きました。上方は、江戸に比べて武士の人口が少なく、その分、身分へのこだわりも少なかったようです。町そのものに自由な雰囲気がありました。

西鶴・芭蕉・近松の作品に共通するものはありますか。

庶民の生きざまを描いているという主題は共通していると思います。上方は、身分へのこだわりが少ないといってもやはり封建社会ですから抑圧はあります。身分制度や家族制度などさまざまな制度の中で生きる人々の心を、西鶴は浮世草子で、芭蕉は俳諧で、近松は浄瑠璃・歌舞伎で表現しました。

講座で取り上げたのは、西鶴は『好色一代男』『日本永代蔵』、芭蕉は三つの紀行文、『おくのほそ道』『笈の小文』『野ざらし紀行』、近松は『曾根崎心中』『天の網島』です。三人とも、常に新しいことへの挑戦を怠らず、自分の思いを表現しました。

作品の中に見られる三人の特徴とはどのようなものなのでしょうか。

芭蕉は、人間の本質を抜き出そうとしました。いろいろな生き方の中で共通している部分を抜き出し、それを抽象化して短い言葉に表しました。反対に西鶴は、現実に向かっています。作品が具体的、個別的で、一人一人の心の違いまで描こうとしています。近松は、その中間でしょうか。物語は現実的ですが、話の内容はその典型を取り上げています。世話物、その中でも心中物の世界は多くの男女の共

通した思いだったでしょう。近松は演劇ですから、西鶴や芭蕉とはまた違った苦勞があったと思います。

上方文化と江戸文化の違いを教えてください。

上方文化は江戸へと広がっていきました。二つの文化を比べると、江戸の方が専門的に思えます。例えば浮世絵にしても、江戸ではプロの絵師が中心です。江戸はお上によっていろいろな文化が保護されていたのです。上方文化はどこか素人っぽい感じがします。はじめはみんなで作り上げ、やがてその中からプロが生まれて、洗練されてくるというのではないのでしょうか。

茨木市に、この三人にまつわる場所がありますか。

山手台公園の近くに、「おさん茂平」の碑があります。これは、西鶴の『好色五人女』や近松の『大経師(だいきょうじ)昔暦(むかしごよみ)』の中に出てくる主人公の名前で、不義密通の疑いをかけられた二人が死地を求めてさまよい、ついに心中するという実際の事件をもとに作られた話です。この辺りは、もともとは山林でした。清阪街道はその中を通り亀岡に続いているので、実際に二人が通った可能性があるのかもしれない。この碑に、心中などで死ななければならなかった人を鎮魂する、後世の人々のやさしい心が感じられます。



豊富な経験・技術を生かす シルバー人材センター

シルバー人材センターは、高齢者の豊かな知識と経験を生かしながら、地域社会とのふれあいを高め、いきいきとした生活を楽しむためのシステムです。また仕事や手伝いの人手がほしいときに、安心して依頼できる団体です。あなたも気軽に相談してみませんか。

シルバー人材センターのしくみ

シルバー人材センターは、高齢者にふさわしい臨時的・短期的な仕事を企業、家庭、公共団体から引き受け、会員に提供する大阪府知事認可の公益法人です。会員は、就労（生活を主とするものではなく、追加的な収入を伴うもの）を通じて、長年培ってきた知識、経験、技術を生かし、「自主・自立、共働・共助」の精神をもってセンターの運営に参画するものです。

会員

原則として、60歳以上の健康で働く意欲のある方が登録できます。会員は、その仕事の内容に応じて「配分金」を受け取ります。就業や収入の保障はありませんが、各人の希望と能力に応じた働き方ができます。現在（平成17年9月末）約1,400人が登録し、約760人が地域で活動しています。

仕事の依頼

センターは家庭や事業所、公共団体などから仕事の依頼を受けて、会員を紹介しています。公共的、公益的な団体で、収益を目的としていませんから、安心して仕事を任すことができます。またセンターが責任をもって仕事の完成・遂行をしてくれます。ただ高齢者の就業なので、安全を配慮して、危険・有害な仕事は引き受けていません。



除草作業



ふすまの張り替え



学校での受付業務

仕事の内容

技術分野

パソコン指導、ISO（国際標準化機構）9001の認証取得援助など

技能分野

庭木などの剪定、障子・ふすま・網戸の張り替え、大工仕事、ペンキ塗りなど

一般作業分野

除草・草刈り、屋外清掃、屋内清掃、チラシ・ピラ配りなど

サービス分野

家事援助（掃除・洗濯・留守番・ペットの世話）福祉援助（話し相手・介助など）和服の着付けなど

管理分野

駐車・駐輪場の管理など

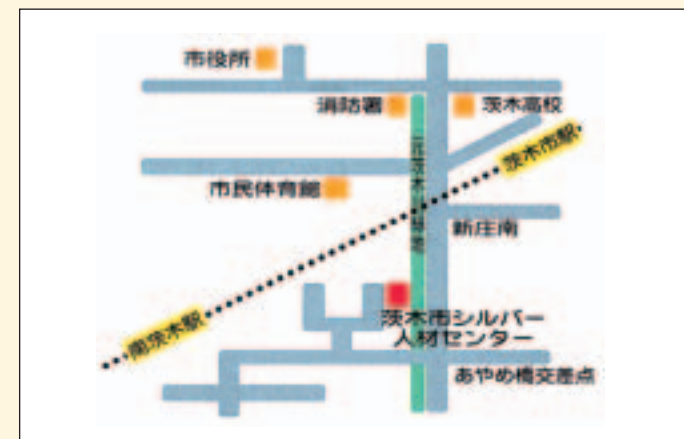
事務分野

筆耕・宛名書き、パソコン入力など

上記以外の仕事でも、一度センターに相談してみてください。



藤棚を点検する大工班



通学路に立ち児童を誘導する会員

独自事業など

センター独自の事業を、平成16年度から行っています。昨年の9月、京都において史跡めぐりとハイキングが実施され、歴史観光ガイドが活躍しました。現在、手作りみその試作製造中で、近々販売を予定しています。今後、子育てサポートや9001以外のISO認証取得援助も実施していきたいとのことです。

センターでは、ボランティア事業も実施しています。1年に2回、元茨木川の清掃を120～130人で行っています。さくらまつりでは、延べ50人の人たちがぜんざいの販売（実費にかかる料金）をしました。

団塊の世代の定年退職を間近に控え、たくさんの人たちがセンターを利用することが予想されます。今後のセンターの業務活動もますます活発になることでしょう。

茨木市シルバー人材センター

〒567-0861

茨木市東奈良一丁目4-1

TEL 634-8990（代表）

FAX 634-9449

Eメール ibarakisc@mist.ocn.ne.jp

業務時間 8:45～17:15

（土・日・祝日は休み）

担当：小山 西村

子育て支援総合センター

茨木市は、子育てにかかわるすべての機関、地域、市民の人たちとネットワークを組み、子どもたちを見守っていくことをめざしています。

茨木市立子育て支援総合センターは、乳幼児の子育てについての相談やその他の支援を行い、乳幼児の健やかな成長を図ることを目的に開設されました。



手作りの表示板

子育て相談など

子育てや児童虐待などの相談は、保育士、心理判定員、総合相談員が対応しています。親にとっては、子どものちょっとした行動も気になるものですが、ささいなことでも電話で気軽に相談できます。昨年8月の開所以来、200件を超える相談があったそうです。

面接相談では、子どもやその保護者に必要に応じて、心理療法（セラピー）も行われます。この相談は予約が必要です。また体への暴力や言葉の暴力、育児放棄などの児童虐待の相談も受けています。相談は子ども自身、保護者、ご近所の方など、どなたでもできます。子どものわずかな変化や心身が傷ついているのではと思うようなことがあれば相談してください。解決に向けて、関係機関と連携し対応してくれます。

「子育てにはさまざまな不安がありますが、育児はこうあるべきという思い込みを無くすことも大切なことです。気軽に相談してください」と当センターの所長が話してくださいました。

電話相談	火曜日 10:00～16:00 624-0961
面接相談	水曜日 予約が必要です。
児童虐待相談	月～金曜日 9:00～17:00 624-8951

つどいの広場

つどいの広場は、いつでも好きなときに親子で遊びに行くことができ、気軽に集い、語り合い、交流が図れる場です。就学前の乳幼児をもつ保護者とその子どもが対象です。子育て支援総合センターには「ぼっぼルーム」があり、原則として、保育ボランティア2人が見守っています。取材に訪れた日には、多くの親子が楽しそうに遊んでいました。

市内にはこのほか7カ所につどいの広場があります。市では平成21年度（2009年度）までに、合計14カ所の広場の設置を目標にしているとのこと。

つどいの広場 開設場所	
森のひろば	水尾三丁目16-25 637-5550
ふくろう広場	耳原一丁目9-10 643-2968
おおいけ	園田町15-25 ひかりハイツ101 633-5890
こえんひろば	中総持寺町4-16 ハイツ中総1階 667-8343
ほっとメイト広場	沢良宜浜三丁目9-5 667-6555
るんぴに広場	東太田二丁目9-32 667-6544
ちゃちゃはうす	下穂積一丁目6-21 コーポエコー101 664-6331

開館日・時間は各施設によって違います。



ぼっぼルーム



茨木市立子育て支援総合センター

開館日 月～金曜日
開館時間 9:00～17:00
(祝日は休館)
〒567-0885
茨木市東中条町2-13 合同庁舎4階
TEL 624-9301
FAX 624-9302

担当：小山 西村 林田

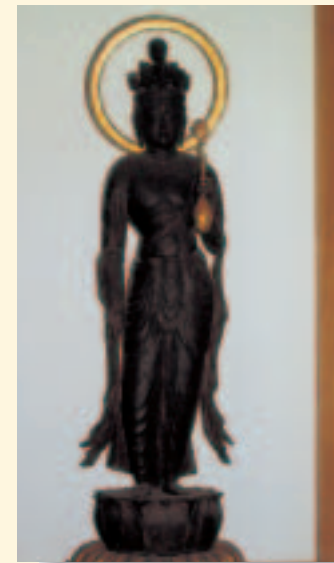
指定文化財を訪ねて ～仏像に見る美と心～

茨木には、仏像や絵画、工芸品などの市指定文化財のほか、府や国の指定文化財があります。今回、『まなびどり』編集ボランティアは、三カ所の古寺を訪ねました。

歴史の中に埋もれることなく、大切に受け継がれた仏像の美しさと境内の静寂に、心が洗われるひとときでした。



大門寺山門



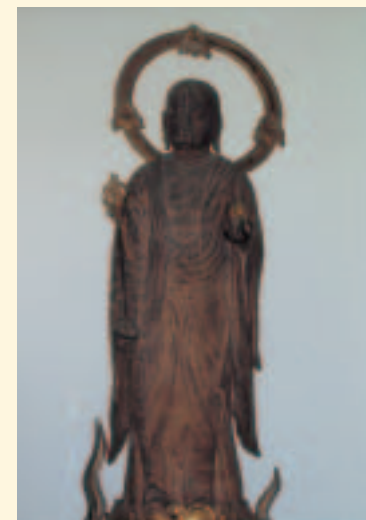
木造十一面観音立像（蓮花寺）

木造十一面観音立像
蓮花寺
大阪府指定文化財
天王二丁目
ヒノキ材の寄木造りで、額の中央に水晶がはめ込まれている。像高は144.1cm。胴から腰にかけての曲線や流れるような衣の表現は平安後期の作風。強い腰のひねりなどは鎌倉初期の特色で、平安末期の様式を含む鎌倉初期の作と考えられている。



木造毘沙門天立像（大念寺）

木造毘沙門天立像
大念寺
茨木市指定文化財
安威三丁目
ヒノキ材の寄木造りで、眼には玉がはめ込まれている。像高は99.6cm。力強い姿と薄い衣の質感などから鎌倉時代の作とみられ、衣の表現が誇張されていることから鎌倉時代でも中期～後期の作と考えられている。

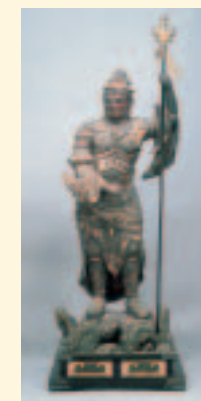


木造地藏菩薩立像（蓮花寺）

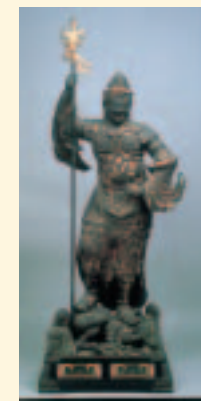
木造地藏菩薩立像
蓮花寺
大阪府指定文化財
天王二丁目
クス材の一木造りで、像高は114.5cm。

温和な表情で、胸や腿の肉付きから若い托鉢僧の姿を描き出した力強い像との見方もある。平安時代の作。

木造四天王立像
持国天 增長天
大門寺
国指定文化財（重要文化財）
大字大門寺
ヒノキ材の寄木造りで、像高は、持国天は101.0cm、增長天は105.6cm。京風の作りを持つ。平安時代の作。
広目天と多聞天は、大阪市立美術館に貸出中。

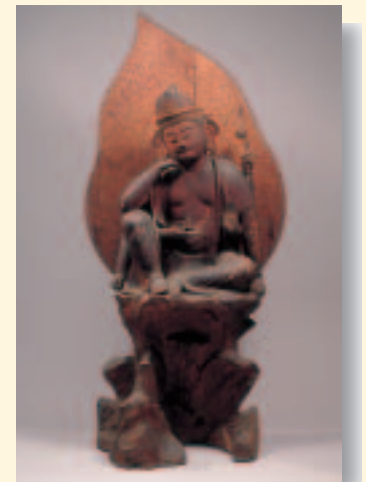


持国天（大門寺）



增長天（大門寺）

大門寺の木造如意輪観音座像と木造四天王立像は、実際の仏像を見ることができず、ご住職の説明による取材でした。



木造如意輪観音座像（大門寺）

木造如意輪観音座像
大門寺
国指定文化財（重要文化財）
大字大門寺
クス材の一木造りで、像高は58.6cm。

蓮弁ではなく、岩をかたどった上に半迦思惟の姿で座している。光背はヒノキ材。平安時代の作。

担当：阿曾 野間

グループ紹介

いばらき おもちゃ病院



新聞で、東京を中心に「おもちゃ病院」が開院されている記事を見て、私も修理してあげたい思いにかられました。茨木市社会福祉協議会の職員に相談したところ、富田林市のおもちゃ病院を紹介され見学に行きました。もともと手先が器用だった私は、茨木市で開院する気持ちを担当者に伝え、アドバイスを受けて帰りました。ボランティアセンターの職員が、個人で登録している人に声をかけてくれたり、チラシを作って呼びかけてくれたりしたこともあって、平成15年（2003年）に私たちのグループが誕生しました。

最初は「修理ドクター」が見つからず苦勞の連続でしたが、職員の応援もあって何とかクリア。しかし今度は開院場所で苦勞。ちょうどこの頃、「茨木交流倶楽部」に出入りしていた関係で、場所の提供をお願いしたところ、気持ちよく貸してくださいました。

登録4カ月後の11月に、やっと第1回「いばらきおもちゃ病院」を開院することができましたが、来院者はゼロでガックリ。しかし「患者」はしだいに増えていき、平成17年（2005年）12月で26回目を数えました。修理件数も200件を超え、完治率は90%以上です。完治率が高くなった要因は、IC（集積回路）に詳しい人が「ドクター」として名乗りを挙げ、「治療」に加わったからです。完治が難しい「患者」については入院していただき、持ち帰り修理して、翌月の開院日に退院します。現在、ICドクター2人、外科ドクター8人、裁縫ドクター1人、事務長1人が活動中です。修理が必要なおもちゃがあれば、ぜひ来院してください。

開院日 毎月第4土曜日（12月のみ第3土曜日）
福祉文化会館1階 10:00～12:00
茨木交流倶楽部内 13:00～15:00

連絡先 須磨 邦男 627-0086
（茨木市社会福祉協議会 ボランティアセンター内）

音訳ボランティア グループ藍野



私たちのグループは、茨木市立図書館が視覚障害者サービスを始めようと募集した講習会をきっかけに発足しました。その時の受講生は18人。昭和50年（1975年）4月のことでした。翌年、グループの名称を、三島地方の古称である「藍野」に、“愛”や“EYE”などの意味をこめて「グループ藍野」と決めました。当初は手探り状態だったこの会も、今年で30周年。現在は29人で活動しています。

中央図書館地下にある録音室および作業室が、私たちの主な活動場所です。活動内容は、対面朗読やテープ雑誌、テープ図書の作成およびデジタル化。また市の広報『いばらき』のテープ録音もしています。

私たちの役目は、視覚障害者の目の代わりになるということ。内容がより正しく伝わるように、ときには同音異義語や図、写真などに説明を加えることが必要です。ですから朗読、音訳技術の向上を目指しての研修はかかせません。また、1年に数回ある茨木市身体障害者福祉協会視覚部との交流会は、直接利用者の声が聞ける貴重な場です。

これからも視覚障害者の方々への理解を深め、もっと喜んでいただける活動を目指していきたいと思っています。

なお、対面朗読サービスは、眼鏡を忘れたなど読むことに困っている方にも対応させていただきます。毎週金曜日の午前と午後、中央図書館1階対面朗読室でお待ちしています。どうぞお気軽にノックしてください。

連絡先 グループ藍野 627-4129
（茨木市立中央図書館内）

市民インタビュー



第25回

茨木市民の中からいきいき生活の達人を探し出し、紹介するコーナーです。話から見えてくるその豊かな人生に、きっとあなたも勇気づけられることでしょう。



サッカーの国際審判員
まつお はじめ
松尾 一さん

今年は、サッカーのW杯がドイツで開催されます。前回は日本と韓国で開催され、多くの人がサッカーの観戦を楽しむようになりました。松尾さんは、日本で10人いる国際審判員（主審）の中の一人です。ここまでの道のりや試合での心構えなど、興味深い話を聞きました。

サッカーは小さい時から好きだったのですか。

小学校低学年の頃は、父の影響もあって野球をやっていましたが、小学5年生になってサッカーを始めました。もともとスポーツは何でも好きだったので週末、土曜日はサッカーを、日曜日は野球をして過ごしました。中学校では、サッカーをやっている友達が多かったのでサッカー部に入り、高校、大学へと進学しても、そのままサッカーを続けました。

サッカーの審判員になろうと思ったきっかけは何ですか。

大学での練習の時に、手伝いで審判をやる機会がありました。また時間があれば、地元の少年サッカークラブへ顔を出し、子どもの試合で審判を務めたりしていました。その時審判のおもしろさを知ったように思います。資格を取るために講習会へも行きました。審判の資格を4・3・2級と取得していくうちに、審判員という立場でサッカーにかかわることができるんだということに気づきました。サッカーを通して出会った多くの人との交流やアドバイスも自信になりました。大阪で開催された「なみはや国体」も大きなきっかけでしたね。

国際審判員への過程を教えてください。

審判員になるためには、筆記、体力、実技などの審査があります。1級審判員になるには、1年をかけて審査されます。インスペクターと称する人が、試合での審判の様子を見て評価します。現在、1級審判員は全国で約130人が登録されています。国際審判員になるには、Jリーグなど国内の試合における態度や判定などを審査され、その評価をもとに、日本サッカー協会から国際サッカー連盟（FIFA）へ推薦されます。日本では現在、主審が10人、副審が10人です。1年ごとに入れ替えがあります。

試合中にはいろいろなことが起こりますが、どのようなことに気を付けていますか。

私は現在、Jリーグやアジアでの国際試合の審判をすることが多いのですが、試合中は刻々と場面が変化します。常にとっさの判断と選択能力が求められますから、日頃からいろいろな場面を想定し、イメージトレーニングをおきます。こうすることで気持ちをコントロールし、冷静なジャッジができるようになります。またビデオを見たり情報交換をしたりもしています。一つのジャッジに選手や観客などが反応しますから、いつも自分を客観的に見るように心掛けています。

サッカーを楽しく観戦する見方はありますか。

サッカーの試合は、テレビ観戦でも十分に楽しめますが、実際に会場に行って観戦すると、試合の雰囲気がいよいよ伝わってきます。選手の動きや声、また観客の声援が試合の緊張感を肌で感じさせてくれます。今年はW杯がドイツで開催されます。試合だけでなく、いろいろな国の文化を知りたい機会ですね。

松尾さんにとって「生涯学習」とは何ですか。

審判活動での人との出会いは、いつも私に多くのことを学ばせてくれます。試合で全国を回り、その土地の良さも知りました。海外では、その国の言葉と文化を勉強することができました。こうした経験を通して、私は人との出会いが一番だと思っています。私にとって「生涯学習」とは、人との出会いの中でさまざまなことを学ぶということです。それがなければ今の自分はないのですから。

審判員は、技術、体力、精神力のどれが欠けても務まらないことを改めて知りました。サッカーの試合観戦では、選手だけでなく、審判員にも注目してみようと思いました。

茨木の街道をゆく

『まなびどり』編集ボランティアは、茨木市内の自然歩道や街道などを実際に歩き、四季折々の自然をお届けしてきました。

今回は、昨年で紹介した西国街道に続いて、茨木市内を通る街道とその周辺を歩いてみることにしました。

茨木街道とその周辺

茨木街道は、宿川原町の郡山宿本陣（樁の本陣）近くで西国街道から分岐して東へ進み、郡小学校、高橋の交差点を通り、安威川にかかる先鋒橋を渡って鮎川に入り、高槻市玉川から大塚町に至る道です。

『まなびどり』編集ボランティアは、茨木街道とその周辺、約11kmを昨年の10月上旬に歩いて取材をしました。

宿川原バス停～春日神社

阪急茨木市駅9:15発の阪急バス郡山団地行に乗車し、JR茨木駅を経由して宿川原バス停に9:40に到着。バス停から西国街道を南へ少し行く。郡山宿本陣（樁の本陣）の手前、宿川原町1番の角の道標に、「茨木街道 茨木 三島江 枚方道」とある。郡山団地に通じる道路を越え、郡山二丁目に入る。コスモスやススキ、ムラサキシキブなどを見ながら郡小学校の正門前に入る。（10:05着1,140歩）

郡五丁目あたりで道祖本街道と離れ左へ行き、郡四丁目と亀岡街道と合流し南へ。郡神社へ立ち寄り小休止する。天児屋根命、素盞鳴尊が祭られており、静かで清潔なたたずまいであった。（11:03着5,130歩）

街道に戻り、昔の風情が残る静かな道を進み、名神高速道路をくぐると上穂積だ。四丁目と二丁目の境で亀岡街道から離れて左へ行く。府道を越え、府立茨木工業高校（茨木工科高校）の前に入る。かつてはここに倍賀池があった。



郡神社



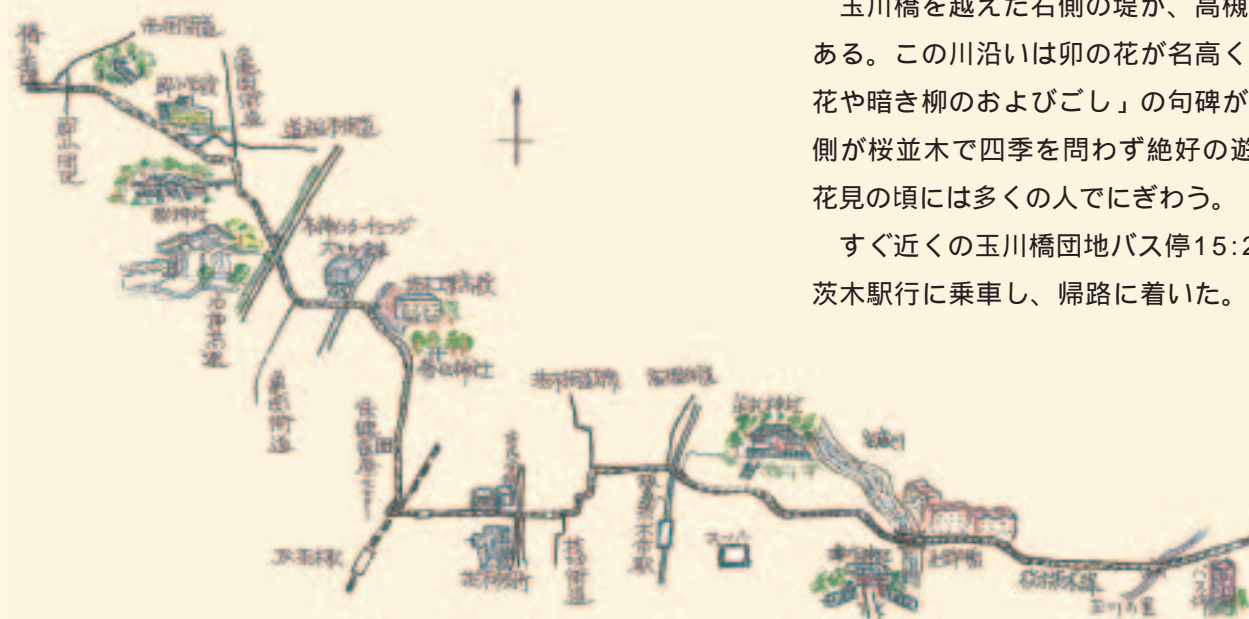
茨木街道の起点にある道標

高校の手前を右折して南へ行くと春日神社に着く。天児屋根命を祭り、国の重要文化財である鎌倉時代の石燈籠があることはよく知られている。（11:45着7,760歩）

コスモスや旧街道の七曲り



春日神社の石燈籠



春日神社～溝咋神社

春日神社を後にして、保健医療センターを過ぎ春日商店街を歩いていくと、JR茨木駅のガードに出る。通りに出て阪急茨木市駅へと進むが、途中、市役所前の中央公園の木陰で休息し、語り合いながら昼食を取る。

（12:13着9,940歩）

高橋の交差点には、「右 茨木停車場 左 大阪」と刻まれた大きな道標がある。交差点を越えるとすぐ左に茨木神社がある。初詣、十日戎、茅の輪くぐりなどに多くの人が訪れる。

秋澄むや彫あと浅き道しるべ

茨木神社の前の道を東へ進んでいくと、前方に東本願寺茨木別院の堂々とした本堂の屋根が見える。ここは、大相撲春場所の宿舎となっていて、その時期には、近辺でまげを結ったお相撲さんを見かけることがある。

本町商店街に入り北上する。道路東側の民家の壁に半分埋め込まれた道標を見つけた。「右 京 八幡 三島江 唐

溝咋神社～玉川橋団地バス停

延喜式内社である溝咋神社は、参道両側が松並木で、ひめたたらいすずひめのみこと（神武天皇の皇后）、みぞくいたましくしひめのみこと（溝咋玉櫛媛命）、溝咋耳命などが祭られている。

先鋒橋に戻り、安威川を渡る。鮎川の交差点を越えてからは車の多い府道を避けて、左側の田んぼの見える細い道を白川一丁目まで行き、白川小学校で右折して府道に出る。少し行くと茨木市と高槻市の境に架かる玉川橋に到着した。（14:55着16,960歩）

玉川橋を越えた右側の堤が、高槻市の「玉川の里」である。この川沿いは卯の花が名高く、松尾芭蕉の「卯の花や暗き柳のおよびごし」の句碑が建っている。今は両側が桜並木で四季を問わず絶好の遊歩道になっており、花見の頃には多くの人でにぎわう。

すぐ近くの玉川橋団地バス停15:28発の京阪バスJR茨木駅行に乗り、帰路に着いた。史跡などへの寄り道



高橋の交差点（西南部）にある道標

崎 富田 高槻」とあった。（13:15着12,120歩）

北進する茨木街道支線と離れて東へ進む。ガードをくぐり道を左にとると中村町である。延喜式内社の一つである牟禮神社へ立ち寄り。祭神は、たてはやすきののみこと（建速素盞鳴尊）、あめのこやねのみこと（天児屋根命）となっている。（13:30着13,460歩）

阪急高架ガードに戻り中津町、寺田町へ。先鋒橋の手前で下流へ進む。五十鈴橋を越えて少し進むと、五十鈴町の溝咋神社がある。（14:20着14,240歩）

秋麗や本殿までの石畳



溝咋神社

分も入れた合計歩数は約17,500歩、約11km、約5時間のウォーキングだった。

持ち帰る桜紅葉の二三枚

今回歩いた道は、車の交通量が非常に多かったため、注意して歩きました。道標や神社などの史跡を巡りながら歩いていると、当時の町の様子が浮かんで来て、想像の世界に浸ることができました。

担当：阿曾 西村 野間 林田 宮崎
俳句：阿曾 地図：宮崎

催し物案内

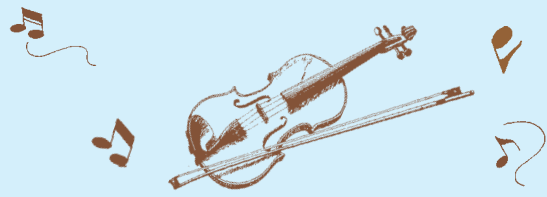
生涯学習センター きらめき 室内楽 演奏会

Performed by Musical Offering
NOVA MUSIKER

茨木市立生涯学習センター きらめきでは、より多くの方が芸術や文化に親しめるように、室内楽の演奏会を開催しています。

新進気鋭の若き音楽家集団NOVA MUSIKERによる演奏を通じて、管弦楽やスタインウェイピアノの心地よい室内楽を味わってください。

皆さまのご来場をお待ちしています。



平成18年度は、4月の第1土曜日から翌年の1月まで10回の演奏会を予定しています。

毎月第1土曜日（12月を除く）14:00開演
茨木市立生涯学習センター きらめきホール
入場料 無料
問合せ先 市民学習課 624-8182
(茨木市立生涯学習センター)

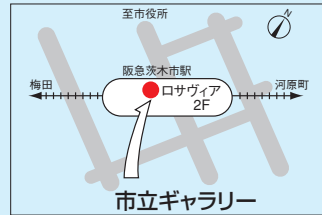
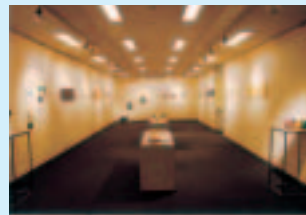
現代美術 - 茨木・特集作家たちによる 「ミニアチュール展10」

この展覧会は、今年で32回目となる府下でも特色ある美術展として発展してきた「現代美術 - 茨木」で選出された特集作家たちによるものです。

10回目となる今回は、サイズを32cm以内の3点連作とし、「限られた大きさの中で、連作としての展開とその魅力」に迫ります。作品サイズを縮減することにより、さらなる想像力と小作品にしか表せないミニアチュールとしての魅力を追求しています。

ぜひご覧いただき、作品にこめられた作者の想いを感じてください。

皆さまのご来場をお待ちしています。



1月12日（木）～ 1月17日（火）
10:00～19:00（最終日は17:00まで）
茨木市立ギャラリー
茨木市永代町1-5 阪急茨木市駅 ロサヴィア2階
入場料 無料
問合せ先 地域教育振興課 620-1686

文化振興財団第65回公演 わらび座ミュージカル《銀河鉄道の夜》

2月12日（日） 15:00 開演
市民会館 大ホール
全席指定 A席3,000円 B席2,000円
65歳以上・18歳以下・障害者及びその介護者は1,000円引き
就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

内容
宮沢賢治が導く「ほんとうのさいわい」とは？
わらび座の美しい歌と踊りが誘う銀河の旅
原作：宮沢賢治、台本：市川森一、美術・衣装：朝倉 撰

チケット
文化振興財団 625-3055
J A 茨木市各店舗 627-7762 (本所総務課)
フミレコード 626-3723 (阪急茨木市駅前店)
朝日野村北摂販売 643-8424



ローソンチケット 0570-000-777
Lコード予約 0570-063-005
(Lコード：51856)
チケットぴあ 0570-02-9999
Pコード予約 0570-02-9966
(Pコード：364-931)
ローソン・ぴあでは割引の取扱いはありません。
問合せ先 文化振興財団 625-3055
クリエイトセンター1階
月～金 8:45～17:15
土・日・祝日は休業

市民カレンダー 1月

日曜	場所	時間	内容	問合せ先
1日				
2月				
3火			各種催しについては、予告なくタイトル・開催時間などが変更になる場合があります。ご了承ください。	
4水				
5木	川端康成文学館	9:00～17:00	テーマ展「川端康成からの年賀状」(～1/29 月曜午後・火曜・祝日の翌日休館 9日は17:00まで開館)	川端康成文学館 625-5978
6金				
7土				
8日				
9月	市民会館等	午前の部9:40～ 午後の部12:40～	第58回茨木市成人祭 第1部 式典 第2部 同窓会コーナー	地域教育振興課 620-1686
10火				
11水				
12木	中央図書館 市立ギャラリー	10:00～12:00 10:00～19:00	読書会(本を楽しむ会「風」) 現代美術 - 茨木・特集作家たちによる「ミニアチュール展10」(～1/17 17日は17:00まで)	中央図書館 627-4129 地域教育振興課 620-1686
13金	沢良宜青少年センター クリエイトセンター	10:00～12:00 10:00～11:30	子育て相談(2/10・3/10 予約制 定員各3人 保育あり) 第2土曜科学教室	沢良宜青少年センター 632-6055 教育研究所 626-4400
14土	市民会館	10:00～18:00	茨木市立太陽の里ともしび園・穂積 平成17年度作品展示会(～1/19 最終日は16:00まで 障害のある施設利用者の作品展示と活動紹介)	太陽の里ともしび園・穂積 623-7795
15日	合同庁舎5階	13:00～16:00	普通救命講習会	消防署 622-6959
16月	保健医療センター	10:00～11:30	こらから始めよう運動教室(～2/6 毎月曜 1コース4回)	保健医療センター 625-6685
17火				
18水	生涯学習センター	10:00～12:00	3日間ハッピースマイル(生活習慣病予防)教室 (1/19・20 1コース3回 医師・栄養士講義 運動実技)	保健医療センター 625-6685
19木	クリエイトセンター	9:45～10:45 11:00～12:00	クリエイト健康体操教室(～3/23 毎木曜 1/12申込) 初心者コース 9:45～ 経験者コース 11:00～ 各60人	クリエイトセンター 624-1726
20金	ローズWAM シルバー人材センター	9:00～12:00 10:00～16:00	自分ひとりで本を楽しむ日(2/24・3/24) 絵画・書・盆栽・手芸品・写真などの展示(～1/23)	ローズWAM 620-9920 シルバー人材センター 634-8990
21土	三島地区公民館 ローズWAM	10:00～12:00 13:30～16:30	楽しい折り紙教室 - 折り紙でメルヘンの世界を作って飾ろう - (1/28・2/4・18・25) ビデオD Eトーク(3/17も開催)	三島地区公民館 625-6474 ローズWAM 620-9920
22日	市民会館 ローズWAM	15:00開演 16:30～17:30	財団第64回公演 モーツァルト《レクイエム》 たそがれコンサート	文化振興財団 625-3055 ローズWAM 620-9920
23月				
24火				
25水	三島地区公民館	10:00～11:30	「歌は心のふるさと 童謡・唱歌をうたおう」(2/8・15)	三島地区公民館 625-6474
26木				
27金	ローズWAM 中央図書館	10:00～13:30 13:30～15:30	幼児食講習会(2/17・3/3) 読書会(読書友の会)	ローズWAM 620-9920 中央図書館 627-4129
28土	ローズWAM	10:00～11:30	お父さんといっしょにたのしく遊ぼう(3/25も開催)	ローズWAM 620-9920
29日				
30月	ローズWAM	10:00～11:30	あそびの広場(2/27も開催)	ローズWAM 620-9920
31火				

エッセイ
わたしの時間 第19回
昨年、母が亡くなって二十五年になり、おいやめいたちとも久々に会った。全員のおむつを替えたことがあるのは私だった。母の代役をしていたのだろうか。
常に我が家はにぎやかであった。疲れて怒る言葉に窮して、思わず言った言葉が、「スーパーマンではないのだから」。これを彼らはいまだに覚えていてという。
娘の反抗期の頃には、「完璧の母」と言われ、今は孫に「まっこと」と慕われている。自分のための時間が欲しかった時を経て、今では毎日が自分の時間である。
いざ手にしてみると、時間は無意味に過ぎていき、慌てている。そして何か一つ自分にできることを築けたらと、試行錯誤している。
『まなびどり』編集ボランティアでの出会いは、茨木に来て一年あまりの私にとって、貴重な学びの場となっている。
林田 真智子

2月

日曜	場所	時間	内容	問合せ先
1 水	川端康成文学館	9:00~17:00	テーマ展示「川端康成墨書展」 (~2/19 月曜午後・火曜・13日休館 ただし12日は開館)	川端康成文学館 625-5978
2 木				
3 金				
4 土	天王地区公民館	10:00~13:00	子ども料理教室(バレンタインケーキ作り)	天王地区公民館 625-7007
	ローズWAM		ローズWAMまつりイベント(上方笑女隊おんな落語会)	ローズWAM 620-9920
5 日	ローズWAM	10:00~20:30	ローズWAMまつり(全館開放 講演・コンサート・屋台店など)	ローズWAM 620-9920
6 月				
7 火				
8 水	養精地区公民館	13:30~15:30	人権教育研修会	養精地区公民館 625-7807
9 木	中央図書館	10:00~12:00	読書会(本を楽しむ会「風」)	中央図書館 627-4129
10 金				
11 土	クリエイトセンター	10:00~11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
	クリエイトセンター	15:00開演	バリアフリーコンサート	文化振興財団 625-3055
12 日	市民会館	15:00開演	財団第65回公演 わらび座ミュージカル《銀河鉄道の夜》	文化振興財団 625-3055
13 月				
14 火				
15 水	ローズWAM	10:00~12:00	ローズWAM講座「女と男のあした」(2/22・27・3/8・15)	ローズWAM 620-9920
	西地区公民館	14:00~16:00	女と男のいい関係	西地区公民館 626-6541
16 木	市立ギャラリー	10:00~19:00	市立ギャラリー企画展23「墨の香り 六人の作家による書のコラボレーション」(~2/28 28日は17:00まで 22日は休館)	地域教育振興課 620-1686
	天王地区公民館	13:30~15:00	講演会「淡墨桜物語」~淡墨桜等をめぐる人たちについて~	天王地区公民館 625-7007
17 金				
18 土	庄栄コミュニティセンター	10:30~11:30	ねこじゃらしによる人形劇の鑑賞	総持寺青少年センター 627-6793
19 日	消防本部4階	13:00~16:00	普通救命講習会	消防署 622-6959
20 月				
21 火				
22 水	天王地区公民館	13:30~15:00	講演会「蘭花譜物語」~蘭に魅せられた人・加賀正太郎を中心に~	天王地区公民館 625-7007
23 木	ローズWAM	10:00~11:30	親子でたのしく遊ぼう(3/9も開催)	ローズWAM 620-9920
24 金	中央図書館	13:30~15:30	読書会(読書友の会)	中央図書館 627-4129
	クリエイトセンター	14:00開演	下岡万佑子・加代子ジョイントリサイタル	文化振興財団 625-3055
25 土	ローズWAM	14:00~	「YAI YAI IKO LIVE.6」青年による軽音楽・ダンスなどのライブパフォーマンス(青年による人権啓発事業実行委員会)	地域教育振興課 620-1686
26 日	消防本部4階	9:00~17:00	上級救命講習会	消防署 622-6959
27 月				
28 火				

3月

日曜	場所	時間	内容	問合せ先
1 水	川端康成文学館	9:00~17:00	テーマ展示「川端少年が歩いた茨木の町」(~5/28)	川端康成文学館 625-5978
2 木				
3 金				
4 土	豊川青少年センター	9:00~17:00	世界の絵本展「ようこそ台湾・韓国へ」(~3/25)	豊川青少年センター 643-9633
	ローズWAM	10:00~12:00 13:30~15:30	春の市民サークル体験講座(3/6・11 茶道・リトミック・ヨガなど)	ローズWAM 620-9920
	総持寺のち愛ゆめセンター	10:30~11:30	親子でふれあう体操・絵本の読み聞かせ・子育てのコツ	総持寺青少年センター 627-6793
5 日	クリエイトセンター	14:00開演	茨木市少年少女合唱団第30回定期演奏会	地域教育振興課 620-1686
6 月				
7 火				
8 水				
9 木				
10 金				
11 土	郡山宿本陣	9:30~16:30	郡山宿本陣特別公開(~3/26)	地域教育振興課 620-1686
	クリエイトセンター	10:00~11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
	上中祭青少年センター	10:00~12:00	映画の上映	青少年課 622-5180
12 日	豊川のち愛ゆめセンター	10:00~15:00	豊川やよい祭(模擬店・大道芸・フリーマーケット・ストリートミュージシャン他)	豊川のち愛ゆめセンター 643-2069
13 月				
14 火				
15 水				
16 木				
17 金	青少年野外活動センター	10:00~13:00	自然と親しむ講習会「バードウォッチング入門」	青少年課 622-5180
18 土	ローズWAM	14:00~	男女共同参画脚本上演「夢」	ローズWAM 620-9920
	青少年野外活動センター	9:00~15:00	市民森づくりキャンプ	青少年課 622-5180
	青少年野外活動センター	13:00~15:00	自然と親しむ講習会「木工クラフト入門」	青少年課 622-5180
	消防本部4階	13:00~16:00	普通救命講習会	消防署 622-6959
	クリエイトセンター	14:00開演	第7回クリエイティブコンサート	文化振興財団 625-3055
20 月				
21 火				
22 水				
23 木	長柄国分寺他	13:30~16:30	ぶらり見学会(長柄国分寺と大阪くらしの今昔館他 講師:西田善一さん)	文化財愛護会 西田宅 632-5486
24 金	中央図書館	13:30~15:30	読書会(読書友の会)	中央図書館 627-4129
25 土	クリエイトセンター	14:00開演	第7回ピュアモレー・ポロニアコンサート	文化振興財団 625-3055
26 日				
27 月	ローズWAM		臨時休所	ローズWAM 620-9920
28 火	茨木小学校	10:30~11:30	おはなしキャラバンつばさによる人形劇の鑑賞	総持寺青少年センター 627-6793
29 水				
30 木	保健医療センター	10:00~13:00	春休み子どもクッキング(小学5・6年対象 ハッピースマイル応援隊主催)	保健医療センター 625-6685
31 金				

掲載している催しについての申込方法・期限・定員、入場料などは、各施設へお問い合わせください。

ギャラリーガイド

1/1・・・5・・・10・・・15・・・20・・・25・・・30・2/1・・・5・・・10・・・15・・・20・・・25・・・3/1・・・5・・・10・・・15・・・20・・・25・・・30

市立ギャラリー	1/5~10 REBORN2006-哀しみの終わるとき(インスタレーション)	1/26~31 写団 道しるべ展(写真)	2/16~28 茨木市立ギャラリー企画展23「墨の香り 六人の作家による書のコラボレーション」	3/16~21 片桐察と仲間達作陶展	10:00~19:00 (火曜日は17:00まで) 休館日/水曜日 問合せ先/各会期中はギャラリー 621-1850 地域教育振興課 620-1686			
川端康成文学館 ギャラリー	1/5~15 館蔵品展 西澤静男版画展 -川端文学のヒロインたち-	1/16~30 大島修写真展(スーパーマクロ) 「水玉の世界」	2/1~19 南方トミ作品展(13日は休館)	2/20~27 資料整理のため休館	3/1~16 第二学区高校美術・工芸教員展	3/17~31 川上隆史の立体展	9:00~17:00(最終日は12:00まで) 休館日/月曜午後・火曜日・祝日の翌日 問合せ先/川端康成文学館 625-5978	
クリエイトセンター 市民ギャラリー	1/4~17 フォトクラブ「ゆうゆう」第4回写真展	1/18~24 茨木市茶華道連盟 生花小品花展	1/25~2/7 大阪日本民芸館友の会「写友会」	2/8~21 「遊友会」油絵展	2/22~3/7 しゅんこう和紙ちぎり絵	3/8~21 「遊画会」油絵展	3/22~4/4 山本稔写真作品展	9:00~19:00 (各最終日は13:30まで) 問合せ先/市民会館 623-3962
福祉文化会館 市民ギャラリー	1/4~30 石田恵美洋画作品展	1/31~2/27 児玉泰洋画作品展	2/28~3/27 茨木美術協会新入会員作品展	3/28~4/24 北摂の旗手たち作品展				

4月

日 曜	場 所	時 間	内 容	問 合 先
1 土	川端康成文学館 ギャラリー	9:00～17:00	タカノ ^{うこう} 卯港作品展（～4/15 最終日は12:00まで 月曜午後・火曜・祝日の翌日は休館）	川端康成文学館 625-5978
2 日				
3 月				
4 火				
5 水				
6 木				
7 金				
8 土	クリエイトセンター	10:00～11:30	第2土曜科学教室	教育研究所 626-4400
9 日				
10 月				
11 火				
12 水				
13 木	中央図書館	10:00～12:00	読書会（本を楽しむ会“風”）	中央図書館 627-4129
14 金				
15 土				

掲載している情報は紙面の都合上一部です。
詳しくは各施設へお問い合わせください。

編集後記

●取材で仏像を拝観しました。何百年という刻を経て、当時の美しさを留めている不滅なるものと、それを守り継承している人たちの並々ならぬ思いに深い感銘を覚えました。思えば人の一生の何と短いことか。多くの事を考えさせられた一日でした。
(阿曾)

●茨木市次世代育成支援行動計画の一つの施策である、子育て支援総合センターについて特集しました。すべての子育て家庭をサポートする取り組みに大きな期待を寄せると共に、次世代を担う子どもたちが健全に成長することを願うものです。
(小山)

●子育て支援総合センターを取材し、子育ての悩みなどの解決に関係機関が連携して取り組んでいることを知りました。また親子が自由に遊べる「ぼっぼルーム」に共感しました。今後は、高齢者と親子の三世代が交流できる施設ができることを期待しています。
(西村)

●茨木市内を通る古くからの街道は18街道あると言われていいます。今回は茨木街道を歩いてみました。その途中で、西国街道、道祖本街道、亀岡街道、高槻街道、枝切街道などとお出合いました。それぞれの道に歴史があり、移り変わりがあるようで、それを探すのも楽しみです。
(野間)

●茨木街道を歩きました。この街道は私たちが暮らしている日常の景色の中にありました。資料を手にしてはじめて気が付いた場所や神社仏閣、史跡の知識を得て、茨木の魅力に自慢にも似た気持ちが芽生えました。茨木を訪ねてくる友などとまた歩いてみようと思っています。
(林田)

●表紙の写真を、茨木市内の橋シリーズとして担当しています。橋は被写体としての見方が難しいです。橋を眺めて、天候や午前・午後の光の当たり具合を考えて、何度も足を運びました。編集ボランティアの仲間の協力もあって、作品の出来に満足を感じています。
(宮崎)

投稿募集

皆さんの投稿、情報をお待ちしています。
サークル、グループ活動紹介
500字程度、写真1～2枚
こんな人を紹介したい！
こんな特集を扱ってほしい！など

次回、原稿締切は2月末です。情報提供など（4～6月分）については、はがき・封書をお願いします。
なお、応募多数などの場合は掲載できないこともありますので、ご了承ください。

〒567-0028
茨木市畑田町1番43号
茨木市教育委員会生涯学習部市民学習課
生涯学習情報紙編集ボランティア事務局
624-8182

表紙
写真「五十鈴橋と先鋒橋」
宮崎 弘

掲載している記事やイラストを使用される場合は、ご一報ください。